

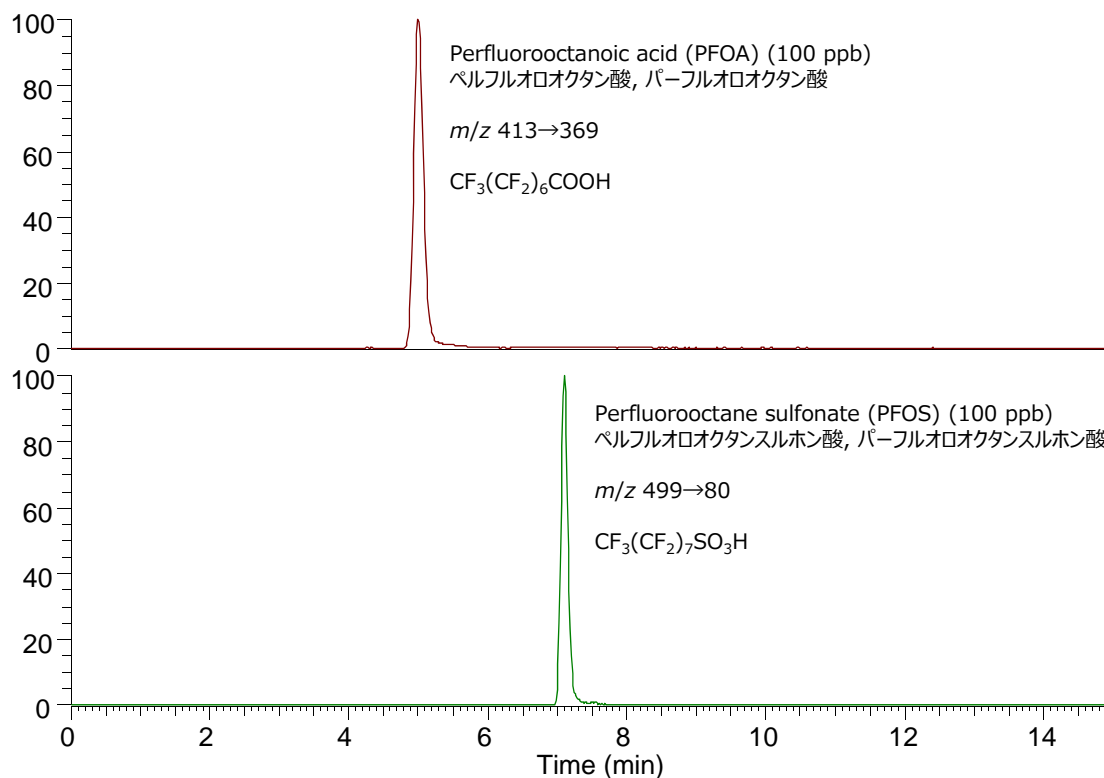
ペルフルオロオクタンスルホン酸、ペルフルオロオクタン酸 PFOS, PFOA

PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)とその塩、PFOA(ペルフルオロオクタン酸)とその塩は、フッ素樹脂製造時の助剤、界面活性剤、表面処理剤、フォトレジストなどの用途で使用されてきましたが、環境残留性や生体蓄積性が高いことから、PFOSとその塩及びPFOSF(ペルフルオロオクタンスルホン酸フルオリド)は、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約(POPs条約)第4回締約国会議(2009年5月)において、当該条約の附属書Bに追加することが決定されました。ここでは、PFOSとPFOAをLC/MS/MSにより分析しました。L-column2 ODS は、ほとんどテーリングがなく分析が可能で、サブppbレベルの濃度まで検出が可能です。

Key words : PFOS PFOA
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

Column : L-column2 ODS (C18, 3 μ m, 12 nm), 2.1 mm I.D. \times 50 mm L.; Cat. No. 711140
Eluent : A: 10 mM CH₃COONH₄ in CH₃OH; B: 10 mM CH₃COONH₄ in H₂O
A/B, 60/40-95/5 (0-10 min)
Flow rate : 0.2 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : ESI-MS/MS(-)
Injection volume : 1 μ L
System : LC: Agilent 1100; MS: TSQ Quantum (Thermo Fisher Scientific K.K.)



このアプリケーションデータは、CERI 環境技術部にて採取しました。
これらに関する受託分析もご相談ください。
東京事業所環境技術部 t_kankyo@ceri.jp

2008.10